

令和7年度 学校関係者評価結果

荒尾市立平井小学校

※評価は、4:できている、3:だいたいできている、2:あまりできていない、1:できていない、の4段階評価。

領域	評価観点	評価項目	評価	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0
学校運営	地域との連携・協働	学校は、児童に育てたい3つの資質・能力である「挑戦力」「共感力」「やり抜く力」を育てている。	4.0	[Progress bar to 4.0]				
	人権教育	児童が通いたい、保護者が通わせたい魅力のある学校づくりを進めている。	4.0	[Progress bar to 4.0]				
	教育環境	家庭、地域との連携・協働を図り、地域とともにある学校づくりを進めている。 (授業公開・学校だより・学級通信・ホームページ・地域行事への参加など)	4.0	[Progress bar to 4.0]				
	安全管理	教師が子どもと向き合い、いきいきと教育活動を進めることができるよう、学校は働き方改革を行っている。 (カリキュラム・マネジメント、ICTの活用、人的ネットワークの活用、定時退勤日の推進など)	3.3	[Progress bar to 3.3]				
教育活動	確かな学力	基礎・基本の定着を図る指導を充実させ、子どもたち誰一人取り残さない学びの保障のための取組を進めている。	3.8	[Progress bar to 3.8]				
		「あらおベーシック」や「ICTの活用」により、児童が主体的に学習する工夫を行っている。	3.7	[Progress bar to 3.7]				
		児童が「分かった」「できた」「もっとやりたい」と思える授業づくりができている。	3.8	[Progress bar to 3.8]				
	豊かな心	不登校の未然防止やいじめの早期発見・解消の取組ができている。(日常の声かけ、教育相談、家庭訪問など)	3.7	[Progress bar to 3.7]				
		児童一人一人の人権が尊重される教育活動を進め、児童同士が仲良く言葉をかけあったり協力し合って行動したりしている。	4.0	[Progress bar to 4.0]				
	健やかな身体	体力の向上を図る取組ができている。	3.5	[Progress bar to 3.5]				
感染予防や基本的な生活習慣、望ましい生活マナーが身に付く取組をしている。		3.8	[Progress bar to 3.8]					

○主なお気づき、ご意見等について

○1年生の頃は、とても元気のよい挨拶ができている。しかし、学年が上がるにつれて、元気のよい挨拶ができていないように感じる。1年生の頃の元気なあいさつが、6年生までずっと続くとよい。
○「鉄は熱いうちに打て」ということわざがあるように、1年生のうちからしっかりと学習や生活について指導していくことが大切と思う。
○不登校“0”、交通事故“0”ということは、とても素晴らしいことです。学校がとてもいい環境だと思います。
○児童・先生・家庭・地域がお互いに理解していて、素晴らしいと思う。
○先生方はとても一生懸命、子どもたちのことを考えて取り組んでおられることが伝わってくる。今後も変わらず、頑張って取り組んでほしい。
○子どもたちは、とても元気に発表している。保護者の子どもを思う気持ちも伝わってくる。
○子ども、先生、学校、家庭、地域の協力が素晴らしく、いい関係が築かれている。